

# 環境中期計画「ブーア(Blue Earth)21」の実績

「ブーア21」では2002年～2004年の間、「環境中期計画スローガン」を掲げ、9つのテーマを設定し、部門ごとに目標達成に向けて取り組みました。

環境中期計画「ブーア21」 2002-2004年度実績

テーマ	取り組み内容	中計目標(2004年度)
①地球温暖化対応 事業活動におけるCO <sub>2</sub> 削減と 新エネルギーへの取り組み	○省エネルギー	○製油所におけるエネルギー消費原単位▲10.7%(1990年度比)◇ (当初目標を、中計期間中に達成したため、さらに高い目標を設定した。) ○物流部門における燃料消費量削減 ○タンクローリー▲20%、内航船▲17%(1990年度比)
	○京都メカニズムへの取り組み	○オフィスにおける省エネルギーの推進 オフィス電力▲5%(2003年度比) 社有車燃料消費量▲7%(2003年度比)
	○新エネルギーへの取り組み	○京都メカニズムの利用検討 ○新エネルギー導入検討 (風力発電の事業化推進、SSソーラーパネル2件/年以上)
②汚染物質排出削減 法規制値を下回る排出抑制の 継続と産業廃棄物等の 自社基準での対応	○大気汚染防止	○製油所NOx、SOx、ばいじんの現状排出レベル(法規制値以下)の維持
	○水質汚濁防止 ○産業廃棄物の削減	○製油所のCODの現状排出レベル(法規制値以下)の維持 ○製油所の最終処分量の平均削減率(2002～2004年度)▲81%(1990年度比) ○最終処分量(埋立処分量)/発生量=1.5%以下
	○化学物質管理 ○VOC削減の自主対応	○法規制に基づく化学物質管理の実施・推進 ○改正大気汚染防止法への適切な対応◇
③土壌環境対応 実態把握・対応と未然防止の推進	○SS(サービステーション)	○SS土壌汚染の未然防止の推進、SS施設の自主点検、対応の実施
	○他事業所	○事業所別土壌調査・対応の実施
④省資源 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の 推進による一般廃棄物の削減等	○紙	○電子帳票の削減 ▲33%以上(2002年度比)◇
	○日常品	○コピー用紙の購入枚数の削減 ▲8%(2003年度比)◇
	○水	○全事業所で分別回収・再資源化の体制整備 ○SSにおける排水リサイクル装置導入推進(2件以上)
⑤製品の環境負荷低減 環境負荷の低い石油製品の供給	○軽油対応	○サルファーフリー(10ppm以下)の軽油の供給体制の確立
	○ガソリン対応	○サルファーフリー(10ppm以下)のガソリンの供給体制の確立
⑥グリーン購入 グリーン購入対象の拡大	○資機材・工事等	○資機材(建築資材等)、副資材(薬品、触媒等)、 工事等のグリーン購入の実施と対象範囲の拡大
	○事務用品	○基準に沿った購入の継続実施
	○グリーンサプライヤーからの購入	○グリーンサプライヤーからの購入実施と対象範囲の拡大
⑦研究開発 石油製品および事業活動に 関連する環境技術開発と 新エネルギー分野での 技術開発	○石油製品	○製品の環境負荷低減に向けた高性能触媒開発
	○環境技術開発	○廃棄物削減に向けた余剰汚泥削減技術開発 ○廃棄物削減に向けた触媒使用量の削減・再利用技術の開発 ○土壌中油分評価技術および土壌浄化技術の開発
	○新エネルギー分野	○VOC等ペーパー吸着・回収に関する技術サポート ○天然ガス液体燃料化技術(GTL)の開発
		○燃料電池システムの技術開発
⑧環境貢献プロジェクト 地球温暖化防止をテーマとする プロジェクトの継続的な展開	○環境保全技術協力	○環境関連技術の海外移転実施
	○「ずっと地球で暮らそう。」 プロジェクト	○地球温暖化防止を主題に継続実施 ①発展途上国の環境修復と保全  ②日本の自然保護 ③環境教育・啓発プロジェクト
	○社会貢献	○社会貢献活動の継続実施
⑨環境経営推進施策 環境マネジメントの継続的な推進と 様々なステークホルダーへの コミュニケーション	○環境マネジメント	○人材育成に向けた環境意識共有化の推進
	○コミュニケーション	○ステークホルダー別の効果的な環境情報の発信

●:目標を達成 ×:目標未達 ◇:2004年度に目標を見直し・設定しました。

2002-2004年度実績		評価	頁
○製油所におけるエネルギー消費原単位を1990年度比、▲10.9% (2004年度) 削減した。	●	27	
○タンクローリー燃料消費量を1990年度比、▲20% (2004年度) 削減した。	●		
○内航船舶燃料消費量削減▲8% (2004年度) ※2002年度は、▲15%の削減であったが、航海数の増加により、2003年度は▲11%、2004年度は、▲8%の削減に留まった。	×		
○オフィス電力を2003年度比▲4%削減した。	×		
○社有車燃料消費量を2003年度比▲13%削減した。	●		
○豪州排出権を、「エコ」カード会員が使用した燃料からの排出するCO <sub>2</sub> とオフセット(「CO <sub>2</sub> フリーガソリン」企画)した。 CDM・排出権取り引きに関するノウハウ取得のための試行事業、研修等に参加した。	●	48	
○風力発電:山形県酒田市に発電所を建設し、2004年12月から運転を開始した。	●	34	
○ソーラーパネルの設置:2002年度11SS、2003年度4SS、2004年度12SSに設置した。	●	31	
○維持(各種関連法規制遵守)	●	28,81-88	
○維持(各種関連法規制遵守)	●	29,81-88	
○2002~2004年度の平均で、1990年度比▲88%削減した。	●		
○最終処分量(埋立処分量)/発生量=1.2%を達成した。	●	20	
○PRTR法に基づき化学物質の排出量、移動量を把握し、行政への届出を行った。	●	74,81-88	
○改正大気汚染防止法の公布に伴い、自主的なVOC削減施策を検討し、実行計画を策定中。 規制対象の貯蔵設備は対策済みであることを確認した。	●	29	
○2004年度までに、約200件の土壌調査および浄化工事を実施した。	●		
○EMポイント(SS管理ツール)を年2回、SSスタッフへの環境フォーラム(環境管理の啓発活動)を2004年度は10回実施した。 EMポイントおよび環境フォーラムの活動は、ほぼ定着した。 全社有SS対し、地下設備(タンク/配管等)の自主点検を行い、異常があったSSは、補修等の対応を実施した。	●	20	
○土壌調査および調査結果に応じた対策を実施した。設備の維持管理と日常点検の徹底により土壌汚染防止に努めた。	●	20	
○SAP導入、不要帳票の見直し、電子帳簿保存により電算帳票類を▲33.3%削減した。 2004年度、新人事システムの導入等により、帳票類を約250万枚/年削減した。	●	20	
○コピー用紙の購入枚数を2003年度比▲8%削減した。	●		
○体制整備のためオフィスグリーンチームを設置し、全事業所で分別回収、再資源化を実施した。	●		
○試験導入の結果、当初期待していた効果が得られず、排水リサイクル装置の導入は中止した。	×		
○供給体制を確立し、2005年1月よりサルファーフリー軽油の出荷を開始した。	●		
○設備の新設を含む供給体制を確立し、2005年1月よりサルファーフリーガソリンの出荷を開始した。	●	21,65	
○グリーン購入基準を策定し、2004年度からグリーン購入を開始した。	●	20	
○2003年度に策定した基準に基づきグリーン購入を推進した。	●	20	
○2003年度に制定した基準に基づきグリーンサプライヤーの範囲を拡大した。	●	20	
○サルファーフリー軽油製造用高性能脱硫触媒の開発・実用化を達成した。	●	33	
○余剰汚泥減容化システムを開発し、2002年度に坂出製油所に導入した。千葉製油所で汚泥削減率100%の実証試験を実施中。	●		
○FCC触媒(接触分解触媒)の使用量削減のため、金属捕捉剤を開発し、製油所で実証試験を実施したが、目標の効果を確認できず、新たな試験を計画中。	×		
○開発した土壌中油分評価技術を製油所、SSで利用している。	●		
○油汚染土壌の微生物による浄化技術を開発中。	●		
○VOC回収装置の吸着剤の開発、選定を実施した。	●		
○GTLパイロットプラントにおいて開発触媒の実証化を実施:原料転化率、選択率は、目標値をクリアした。 製品軽油留分の実用化研究を実施した。	●		
○LPG燃料電池の実証化試験を実施するとともに、灯油を原料とする水素製造触媒を開発した。	●	22,34	
○海外技術協力を実施(ゼロフレア化、省エネ等)した。	●	39-40	
○「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを継続して実施した。 ・熱帯雨林保全プロジェクト(バブアニューギニア、ソロモン諸島) ・南太平洋諸国支援プロジェクト(キリバス諸島) ・循環型農業支援プロジェクト(フィリピン) ・シルクロード緑化プロジェクト(中国)	●	47-48	
・学校の環境教育支援プロジェクト(全国5カ所) ・環境学校支援プロジェクト(富士山・小笠原・白神山地)	●		
○次世代を担う子どもたちへ環境啓発を目的とした「コスモ子供塾」、インターネットを使った環境教育サイト「エコネット」の運営、 教員向け環境教育ワークショップ等を開催、環境保全を社会へ呼びかける「コスモ アースコンシャス アクト」等を実施した。	●	49-50	
○社員研修のプログラムに環境教育を組み入れて実施した。	●		
○各ステークホルダーに対する環境出版物、広告、Webによる環境情報を継続して発信した。	●	52	